

こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース
2019年9月号

大分市議会第3回定例会

9月2日から26日まで開催されました。

前半(2日から17日)は補正予算(案)など20議案が審議されました。後半(17日から26日)は平成30年度の決算審査が行われました。一般質問の要旨を紹介します。

政府に核兵器禁止条約への署名・批准を



広島、長崎の両市長は平和宣言で、日本政府に核兵器禁止条約への積極的対応と参加を求めた。しかし、今年も安倍首相は、核兵器禁止条約には全く触れず、唯一の戦争被爆国でありながら、核兵器禁止条約への署名・批准を拒む安倍政権の姿勢は、被爆者の願いに背くものだ。政府に対して核兵器禁止条約への署名・批准を強く働きかけること。

総務部長—「本市単独では、政府に対し核兵器禁止条約の署名・批准を働きかけることは考えていない。本市が加盟している平和首長会議、日本非核宣言自治体協議会とともに、核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現に向けた取り組みを進めていく」と答弁。

食料自給率向上の農政に立て直しを

福間—2018年度の食料自給率は37, 33%と過去最低となった。食料自給率向上の農政に立て直すための対策についての認識は。



農林水産部長—食料生産担う意欲ある農業者の確保・育成などの一層の推進により、本市農業の振興を図ることで食料の安定供給に努めていく。

障がい者(児)支援の報酬改定を

福間—放課後等デイサービスの中重度障害児を50%以上うけいれているか、いないかでの2区分制の報酬体系は、子どもたちへの支援にはふさわしくないと考える見解を。福祉保健部長—障害者自立支援協議会のこども部会において報酬改定の研修会の実施や障害所通所事業所における課題や成果を共有することで、関係機関との連携を強化し、放課後等デイサービス事業所の質の向上、適切な対応に取り組む。

福間—就労継続支援B型施設への基本報酬が定員規模別の設定に加え1日の平均労働時間に応じた報酬改定にともなう事業所への影響についての認識は。

福祉保健部長—平均工賃月額が1万円未満の事業所は報酬額が減額となる。重度障害者を積極的に受け入れていることにより、報酬額の減額が生じている事業所もあると認識している。報酬低下の事業所への支援と重度の障害者が排除されないような指導をしていく。

災害時のごみ収集中止の広報徹底を

福間—災害時、警戒レベル3・4がでたさいには、ごみ収集を中止する必要がある旨をごみ収集カレンダーに掲載すること。



環境部長—ごみ収集カレンダーに台風等で収集を中止する可能性があることなど、より多くの方々に情報が伝わるよう、広報・周知対策を検討する。

国民健康保険については以下3点について質問しました。

- 1 子どもの「均等割り」負担軽減を
- 2 資格証明書の交付世帯は、短期保険証に切り替えて、受診の機会を保障すること。
- 3 一部負担金の減免・徴収猶予制度を周知し、利用促進を図ること。

生健会の歴史と役割を学ぶ



9月21日、全国生活と健康を守る会が1954年「働かせろ、食わせろ、病気をなおせ」と創立された背景から2019年に至るまでの歴史と役割について

お話させていただきました。参加者から大分県の「守る会会運動の歩み」を編纂してほしいとの要望が出されました。

———生活相談日誌———

○新環境センター建設予定地(上戸次)、風力発電施設建設予定地(佐賀関・臼杵市佐志生)の環境等への懸念の声が寄せられ、現地調査を予定しています。

○老人ホーム入所、生保申請、住宅入所、職場でのパワハラ、猿被害、水路の掃除など要求解決にとりくみました。

暮らしや地域の要求をお寄せください

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6
546-4505 (FAX兼用)
携帯090-2714-5612

